



令和3年度 全国高等学校総合体育大会  
福島県選手団 団長メッセージ

第67回福島県高等学校体育大会及び東北高等学校選手権大会を勝ち抜き、「北信越総体2021」の本県選手団になられた皆さん、誠におめでとうございます。選手の皆さんの日ごろからのひたむきな努力と、先生方の熱心なご指導に対し、敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

本来であれば、本県選手団結団式を福島県教育委員会教育長、公益財団法人福島県体育協会会長、公益財団法人東邦銀行教育文化財団理事長をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、開催するところですが、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない為、中止せざるを得ない状況であり、非常に残念であります。

しかし、関係各位の御尽力により、「走れ北信越の大地を とべ北信越の大空へ」のスローガンのもと、福井県をはじめとする北信越ブロックで全国高等学校総合体育大会が開催されることになり、皆さんの想いが届いたと、まずは安堵しております。

ここで本県選手団（28種目 698名）が本大会へ、全国高等学校定時制通信制大会（6種目 84名）に参加するにあたって、「チーム福島」として心を一つにし、競技に臨んで欲しいことがあります。それは、

- 1 大好きなスポーツを思う存分楽しめることに喜びと感謝を。
- 2 コロナ禍の中、出場が叶わなかった昨年度の先輩方の想い。本大会の開催までに、地区大会、県大会、東北選手権大会の運営を「選手ファースト」に考え、並々ならぬ覚悟で実行してくださった関係者の想いを、決して忘れない。
- 3 本県選手団一人一人の全パフォーマンスが、本県の今を発信することに繋がる自覚を持つ。
- 4 本県選手団であることの「誇り」と「自信」を貫き通す。

以上4点です。

いよいよ皆さんが目標としてきたインターハイが開幕します。

全国の強豪相手に正々堂々と、そして最後の最後まで粘り強く戦い、多くの競技で上位入賞できるよう、選手団一丸となって頑張りましょう。

令和3年7月9日

福島県選手団団長 福島県高等学校体育連盟会長 尾形幸男

